

#37 KeePer TOM'S LC500 平川&キャシディでデビューWIN!!



ポールポジションならず！ 3番グリッドからのレースに

満開の桜の歓迎を受けた2017年SUPER GT開幕戦GT300kmレース(82周)が、岡山国際サーキットで行われた。

公式予戦では、天候の影響や赤旗による予戦中断もあり、2列目の3番手グリッドからの決勝スタートとなった。

NSX勢にトラブル発生！ 波乱の幕開け

今年も岡山県警交通機動隊の白バイ先導でのパレードラップを終え、フォーメーションラップとなる予定であったが、ポールポジションを含めた4台のNSX勢にトラブルが発生し、スタートができないというアクシデントが発生、波乱の幕開けとなる。

ニック・キャシディ選手が勝負に出る！ 完璧なマシンコントロールでトップへ

結果的に2番手スタートとなった#37 KeePer TOM'S LC500はスタートドライバーのニック・キャシディ選手がまだタイヤの温まっていない2周目に勝負に出た。

バックストレートエンドでトップのマシンのイン側にブレーキをロックさせ、白煙を上げながら飛び込み、完璧なマシンコントロールでトップに立つと、その後も快調なペースで後続を引き離していく。

しかし、他車のクラッシュなどによりセーフティーカーが導入され、築いていたギャップがなくなってしまった。



気温が急激に下がり、 2位との熾烈なトップ争い

36周目にルーティーンのピットインを順調に終え、ドライバーを平川亮選手に交代、トップのまま再度コースインしゴールを目指す。

スタート時25℃あった気温が時間とともに急激に下がり、レース中盤には10℃台後半まで下がり、レース終盤には10℃台中盤まで下がってしまった。

すると#37 KeePer TOM'S LC500に比べ柔らかめのタイヤをチョイスしていた2位のライバルが、固めのタイヤでペースが上がらないマシンに徐々に迫ってきた。レース終盤の20周は2位のライバルとの手に汗握る壮絶なトップ争いが続いた。



広島県出身の平川亮選手が クレバーな走りを見せ、トップを死守！

しかし、ここ岡山国際サーキットで育ったといっても過言ではない広島県出身の平川亮選手、抜群のライン取りとGT300クラスをうまく利用するクレバーな走りでもトップを死守。LEXUS LC500としてデビューWINをかざった。

これで#37 KeePer TOM'S LC500は2014年のLEXUS RC FのデビューWINと2車種連続で新型マシンデビューWINを獲得した。

みなさん、
応援をよろしくお願いします！



TOM'S#37と#36には
ダイヤモンドキーパーを
がっちり施工！
輝きとツヤを乗せて
サーキットを疾駆します！

